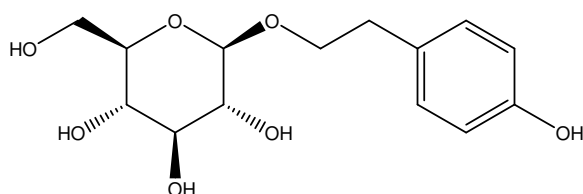
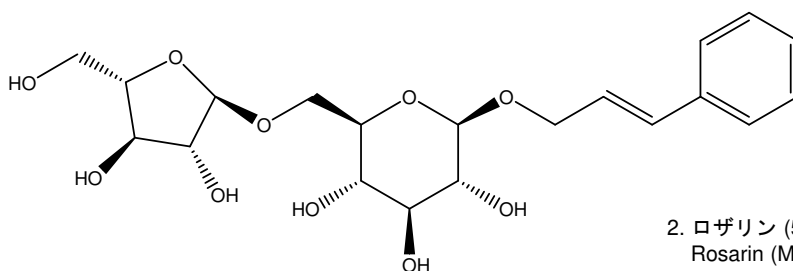


ロディオラ ロゼア含有のロザビン類 Rosavins in *Rhodiola rosea*

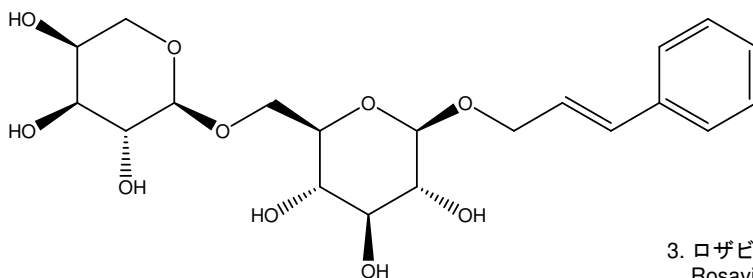
ロディオラ ロゼアは日本名を「岩弁慶」という、山岳部の岩場に生息する多年生植物です。薬草としての歴史は古く、世界各国で何千年にもわたって使われてきました。また滋養強壮、ダイエット効果、抗酸化効果などを有しており、非常に人気の高いハーブです。その中に含まれる2大有効成分がロザビン類とサリドロシドです。ここではロザビン類とサリドロシドをCAPCELL PAK C₁₈ MGII S5 (4.6 mm i.d. x 250 mm) を用いて分析した例を示します。サリドロシドはUV 254 nm ではなくUV 205 nm で高感度に測定できます。また、構造の良く似た化合物群に対して十分な保持と分離が得られています。



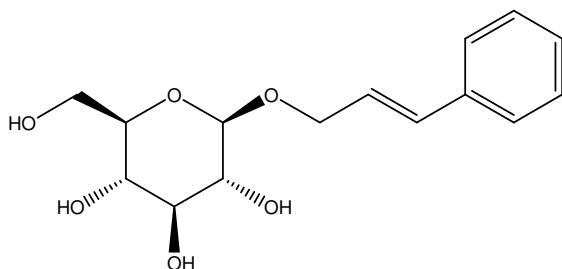
1. サリドロシド (50 µg/mL)
Salidroside (M.W. 300.3)



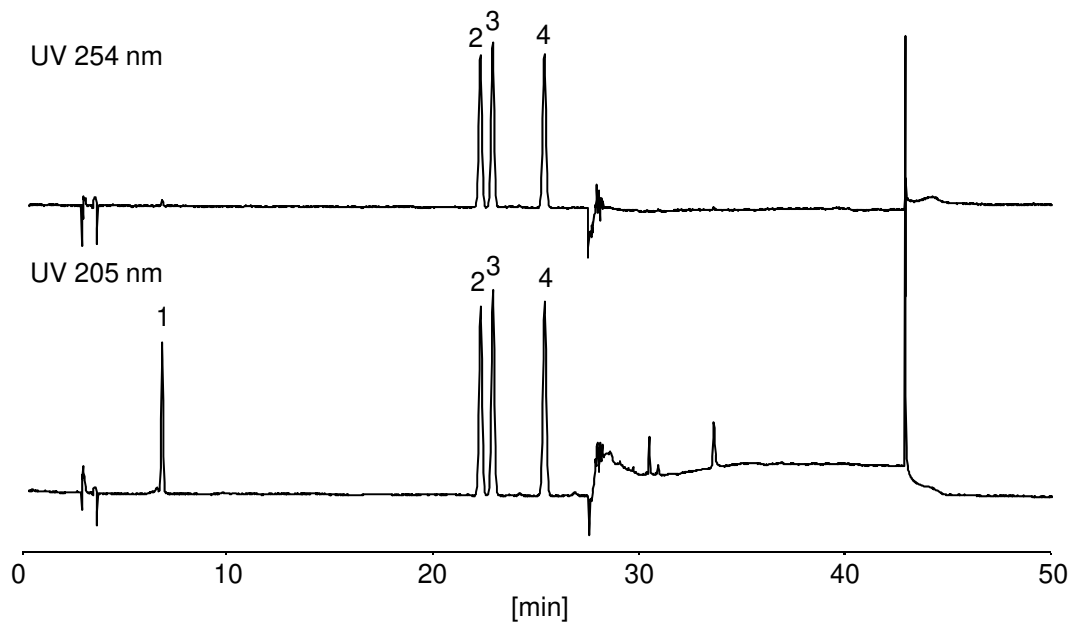
2. ロザリン (50 µg/mL)
Rosarin (M.W. 428.4)



3. ロザビン (50 µg/mL)
Rosavin (M.W. 428.4)



4. ロジン (50 µg/mL)
Rosin (M.W. 296.3)



【HPLC Conditions】

Column : CAPCELL PAK C₁₈ MGII S5 ; 4.6 mm i.d. x 250 mm

Mobile phase : A) H₂O
 B) CH₃CN
 B 10 % (0 min) -> 20 % (25 min) -> 100 % (25.1 min) ->
 100 % (40 min) -> 10 % (40.1 min) Gradient

Flow rate : 1 mL/min

Temperature : 40 °C

Detection : UV 205 and 254 nm

Inj. vol. : 5 μL

Sample dissolved in : CH₃OH
 ※ 1 μg/mL = 1 ppm